

## H A C C P 推進チーム活動報告

### 1 H A C C P 推進チーム活動状況（令和元年度～令和3年度）

#### （1）H A C C P 推進チーム構成団体の連携による講習会の開催について

ア 埼玉県麺類業生活衛生同業組合 23名

令和2年3月18日

内容：埼玉県食品衛生協会が派遣する講師による、H A C C P（基準B）の衛生管理計画の作成に向けた講習と演習を行い、講習後、県職員が会場を巡回し、衛生管理計画の作成を補助した。

イ 飲食店営業施設を対象としたH A C C P 導入講習会

令和2年6月～令和3年3月（計 11回 352名 受講）

内容：N T T 東日本と県朝霞保健所が連携して開催

（第1部）H A C C P の制度化で必要となる衛生管理及び記録の方法

・・・講義と演習：保健所

（第2部）飲食店向けテイクアウト&デリバリー活用方法

・・・講師：N T T 東日本

ウ 小規模製造施設を対象とした導入講習会

（ア）農産物直売所納入業者へのH A C C P 導入講習会

令和3年4月27日：7名

（イ）製茶業者へのH A C C P 導入講習会

令和3年6月16日：（一社）埼玉県茶業協会 95名

（ウ）養蜂業者へのH A C C P 導入講習会（令和3年12月予定）

（エ）青果市場へのH A C C P 導入講習会（予定）

#### （2）普及啓発事業

ア 食品事業者対象に送付する請求書にH A C C P 啓発関係のチラシを同封（N T T 東日本）

（ア）令和2年2月（約16,000枚）

（イ）令和2年4月（約16,000枚）

イ 広報誌等へのお知らせを掲載

「彩の国だより」「市報」「会報」等への掲載 計15回

### 2 導入施設数（実績）

令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、講習会を中止もしくは開催しても感染症対策を十分に行う必要があることから極力参加人数を少なくしての開催となった。

	令和元年度	令和2年度	令和3年9月末
導入施設数（目標）	10,200 施設	33,000 施設	50,000 施設
年度導入施設数（累計）	10,200 施設	21,000 施設	24,900 施設
講習会回数	269 回	310 回	192 回

### 3 今後の活動

H A C C P 推進チームの課題解決に向けて、活動したところ、コロナ禍ではあるものの一定の成果はあったと考えている。

令和 3 年度は、当該チーム活動により得られた成果を継続し、令和 3 年 5 月末までに H A C C P の導入ができなかった施設に対し、各保健所での講習会開催、(一社) 埼玉県食品衛生協会への委託事業及び小規模製造施設を対象とした講習会において引き続き H A C C P 導入を推進していく。